

星をみる会

- ①令和2年5月16日(土)～17日(日)
- ②8月12日(水)～13日(木)
- ③9月26日(土)～27日(日)
- ④10月24日(土)

- ⑤11月7日(土)～8日(日)
- ⑥12月12日(土)～13日(日)
- ⑦12月19日(土)
- ⑧令和3年3月13日(土)

【目的】

子どもの頃の様々な体験が、人生の基盤となり、大人になった時の意欲やコミュニケーション力の差となって表れることから、子どもたちに自然体験を体験する機会を提供する。また、様々な年齢層の方にも当所の魅力を周知する機会とする。

【参加者】

- ①新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ②日帰り22人(男性:8人 女性:14人) 宿泊17人(男性:10人 女性:7人)
- ③日帰り39人(男性:19人 女性:20人) 宿泊36人(男性:17人 女性:19人) ※雨天のため室内で星の話
- ④日帰り22人(男性:6人 女性:16人) ※台風接近のため日帰りで臨時開催
- ⑤日帰り36人(男性:16人 女性:20人) 宿泊17人(男性:4人 女性:13人)
- ⑥日帰り50人(男性:21人 女性:29人) 宿泊19人(男性:12人 女性:7人)
- ⑦日帰り29人(男性:12人 女性:17人) ※山口市立八坂小学校対象で開催
- ⑧日帰り73人(男性:36人 女性:37人) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため日帰りで開催

【プログラムの内容】

1日目

- 17:00 受付(宿泊者・夕食利用者)
- 17:30 宿泊棟移動・夕食
- 18:30 受付(日帰り)
- 19:00～21:00 天体観察・星の話(④～⑧)
- ※19:30～21:30(①～③)
- 21:00 入浴
- 22:30 就寝

2日目

- 6:30 起床
- 7:30 朝食
- 9:30 解散

【各会の観察内容】

- ②「ペルセウス座流星群・木星・土星」③「木星・土星・火星・月」④「火星(中接近)・木星・土星」
- ⑤「夏と秋の星座・アンドロメダ大銀河・火星」⑥⑦「夏/秋/冬の星座たち・すばる」⑧「冬の星座と大三角・火星・天の川」

「ペルセウス座流星群」「木星・土星・火星・月」



1月の「しぶんぎ座流星群」12月の「ふたご座流星群」と並ぶ三大流星群のひとつが「ペルセウス座流星群」。活動のピークは、8月12日前後。カシオペア座を目印にその辺りからスッと流れる光の筋である。当日は、観察会終了寸前まで雲に覆われた空だったが、最後には晴れ間が見え、たくさんの糸引く星を観察することができた。参加者からは、「こんな素敵な星が見られたので、辛抱強く待ってよかった」等の声が聞かれた。



月のクレーターは、月に大きな隕石が衝突してできたものである。クレーターを県内最大級の510mm反射式望遠鏡で観察した。天候にも恵まれ、クレーターにできる影まで、くっきりと観察することができた。月は多くの人にとって身近な天体ということもあり、関心が高く、何度も並んで望遠鏡をのぞき込んだり、写真を撮ったりしていた。

「火星(中接近)・木星・土星」



この日は、火星、木星、土星を観察できた。それぞれの惑星と地球を比べた時の大きさや質量を天体観察指導員に丁寧に解説してもらった。また、木星を周回するガリレオ衛星も一緒に観察することができ、参加者も大満足の様子であった。参加者は、天体観察指導員の方の詳しい解説を熱心に聞きながら、実際に観察することで、惑星の大きさや距離を理解できた様子であった。

【参加者の声】

「子供が大興奮でした。衛星を初めて見た」「細かく説明をしていただいたし、有名な星を見たので満足です」「息子が天体を好きになったようで、目を輝かせて話を聞いていた」「先生が望遠鏡をたくさん覗かせてくれた」「質問したら丁寧に答えてくれた」等の感想があった。

【成果】

アンケートの結果では94%が満足・やや満足と回答があった。新型コロナウイルス感染症の拡大防止を講じながら、毎月1回程のペースで開催することができた。天体観察を通して、多くの方に徳地の魅力を知ってもらえる機会となった。天体観察指導員にも毎回、楽しく、丁寧に解説していただき、参加者は天体についての興味・関心を高めることができた。

【課題】

天候不良の場合は、キャンセルが多く出てしまうので、星の話や室内でも満足していただけるプログラムを工夫して、実施していきたい。